



	書名	著者名	請求記号
1	「織細さん」の本:「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる	武田友紀著	141/Ta
2	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー:the real British secondary school days	ブレイディみかこ著	376/Br
3	砂漠の女ディリー	ワリス・ディリー著、武者圭子訳	289/Di
4	うちの息子はたぶんゲイ(1)、(2)	おくら著	367/Ok/1、 367/Ok/2
5	娘に語る人種差別	タハール・ベン・ジェルーン著、松葉祥一訳	316.8/10
6	「いのち」の近代史:「民族浄化」の名のもとに迫害されたハンセン病患者	藤野豊著	498.6/4
7	みんなたいせつ:世界人権宣言の絵本	東菜奈構成・訳、渋谷敦志写真	316/Hi
8	THIS IS JAPAN :英国保育士が見た日本	ブレイディみかこ著	302/Br
9	精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにまず読む本:”横綱級”困難ケースにしないための技と型	小瀬古伸幸著	492.9/Ko
10	三つ編み	レティシア・コロンバニ著、齋藤可津子訳	953/Co
11	鴻上尚史のほがらか人生相談:息苦しい「世間」を楽に生きる処方箋	鴻上尚史著	914/Ko
12	白人ナショナリズム:アメリカを揺るがす「文化的反動」	渡辺靖著	316/Wa
13	上司と部下の深いみぞ:パワー・ハラスメント完全理解	岡田康子編著	366.3/2
14	「女装と男装」の文化史	佐伯順子著	367.2/Sa
15	ルーマニア・マンホール生活者たちの記録	早坂隆著	368.2/1
16	ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。:私には何ができますか?その悲しみがなくなる日を夢見て	国境なき子どもたち編著	369/Ko

「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる

# 「緋細さん」の本 著:武田友紀

最近、お笑い芸人のロンドンブーツ1号2号が自分はHSP(とても敏感な人)だと公表していますよね。著者自身もHSPであり、数少ないHSP専門カウンセラーです。HSPは脳の病気ではなく「生まれ持った気質」です。どうして自分は何でこんなに「気にしい」なのだろうと悩んでいる人は他にもそういう人はたくさん居ると知れて安心につながるのではないのでしょうか。他人の言動なんて「気にしない」という人は、世の中にはそう感じて生きている人も居るのだと知れる良い機会になる1冊だと思います。

それぞれ、色々な考えや生きかたしている人が居て、皆必至で工夫して生きているんです。

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

The Real British Secondary School Days

グレイディ・サマーズ 著

名門小学校からほぼ底辺中学校へ自ら進学した、息子の日常を、少し引いた目線で綴ったノンフィクションドキュメント。富裕層と貧困層に二極化している英国社会のハードな現実をそのまま体現しているかのような学校行事、学校の中にも外にもある、あらゆるさまざまな人種差別、浮浪者を相手にしたボランティア...

大人でもぎょっとするような出来事に真正面からぶっ叩いていく、ちょっとブルーな中学生の柔軟な感性がとっても好ましい一冊です。



# 砂漠の女 ディリー

著 フリス・ディリー

本書はフリス・ディリーの  
真実の物語であり、ここに  
語られている出来事はどれも  
フリス自身の記憶に基づく事実である  
(本文より)

ソマリア砂漠に暮らす遊牧民だったフリスは、  
ラクダと交換で老人と結婚させられそうになり逃げだしたことから、全てが  
始まりました。そこからロンドンへ渡り、スーパーモデルになる道を進むことになり跡  
事の中でも、衝撃的だったのが、遊牧民の時に行われたFGM…(女性性器切除)  
についてでした。アフリカで太古から行われている風習でフリス自身の体験も書か  
れていました。自分が女性であることを恨んでしまいたい、とても恐ろしく悲し  
いことだと思ひます。それでも、ソマリアに産まれ育ったことを誇りに思い、  
モデルとして活躍するフリスを、同じ女性として尊敬します。

FGM  
歴絶遺棄されています!

# たぶらかし おくらさん

著 おくら

自分の家の誰  
かがLGBTだ、

たとしたらあなたは  
どう感じますか? 自分の  
息子がゲイだったとしたら?

そんなお母さん視線で描かれて  
いる(時々、本他家族)とても暖かい  
雰囲気のコミックエッセイです。

作者のおくらさんはそんな息子と同じ立場の方で、  
この作品をきっかけに母親へカミングアウトされた  
そうです。もしかしたら、おくらさん自身が親に言ってもらい  
たかったこと、してもらいたかったことが詰まっているのかも  
読んでもらいたいです。



娘に語り人種差別

金ムバスター

ハーバート・ベン・シェーン著  
松葉祥一訳

日本で普通に暮らしている子とふたれがたが、「人間はいつでも言葉かによって外国人」(P.22)である。フジニ店員などで外国の方を見かける機会もますます増えてきたが、その瞬間に例えは「中国人=〇〇」「アメリカ人=△△」などと勝手に定義付けしてはいけないうの。人種で、国で、個人を知ることばてできないのに知らぬ間に根付いている偏見をなくするには、結局P.30の言葉のことをするしかたないのかもしれない。

「学ぶこと、自分を教育すること、反省すること、あらゆることを理解しようとすること、人間に関わるすべてのことに興味がある」という態度を示すこと。

「いのち」の近代史

「民族浄化」のヌのもとに

迫害されたハンセン病患者

ハンセン病(らい病)は1996年にらい病予防法が廃止されたといはいい、その当事者や家族は長年学校、市役所や結婚などで差別を受けてきた。本書によると、1849年にはすでに市民レベルで知られていたらい病。2019年にはおよそ半数以上の国の責任が認められた。今世界中でパンデミックを引き起こしているCOVID-19。例え病気かばくばつたとしても差別はきつて残る。周囲から学べることはある。



## 世界人権宣言の絵本

# みんなたいせつ

東葉奈 構成・訳  
渋谷 敦志 写真

1948年12月10日、「世界人権宣言」が国連で採択された。すべての人がしあわせに自分らしく生きるための権利が書かれている。

国境なき医師団日本主催1999年MSFフォトジャーナリスト賞と受賞。日本写真家協会展金賞、視点賞なども受賞したフォトジャーナリスト渋谷敦志氏の **人（タタヒ**  
**子ども）** を撮影した写真が魅力的。メッセージがたくさん込められている。

# THIS IS JAPAN

ブレイディみかこ

英国保育士が 見た日本

**人権** とは、**「アワード」** (褒め) する力も、**「コミュニケーション」** も、**すべての**  
**子ども人間が** 失ってしまったときに **そこにある、わたしたちをまもる」と受け止**  
**めてくれるもの**」とイギリス在住の筆者はいう。「貧困」「格差」  
「子育て」... 日本の2015~16年における現状も、イギリスと対比しながら  
つづらなレポート。読み終えると、日本の若者の一人として、  
何か言いたくなりませう。そんな1冊です。



## 精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにはまず読む本 “横綱級”困難ケースにしようための技と型

人を差別してはいいけないことと当たり前にも思っている、実際同じ思考ができないと接することが大変な場合がある。接客という立場などでは対応できないとクレームとして問題になることも…。本書は「訪問看護」という特殊な仕事のノウハウをまとめたものであるが、様々なケースでコミュニケーションが素晴らしい人との対話の仕方を事細かに記しており、その相手の主体性を尊重する「技」と「型」は万人の対話の参考となるものなのではないだろうか。

## 三つ編み

レティシア・  
コロランニ作

フランス人の映画監督である著者の初の小説。  
旅行前から話題をあつめベストセラーとなり  
自身による映画化も決まっている。

3つの大陸のそれぞれの国と舞台に生きる3人の女性の小説です。小説としての面白さも特筆すべきですが、今回取り上げたいのはフェミニズムの描かれ方です。ここで兼業してしまおう人にも、ひとまず巻末の解説を読んでほしい、全てがまとめられています。この物語の中でのヒロインは女性であることでハンデを負っているけれど、女性の敵は男性と描かれていません。映画監督ならではのフラットな視点と巧みなシーンのつなげ方で3人の人生を編み込んで物語を紡いでいます。読めばインドのスマタのことは皆忘れられないでしょう。「スクールカースト」など軽蔑しい言葉で人を分断しかねることが日常にある人には、スマタの運命を心に留めてほしいです。



## 鴻上尚史のほがりが人生相談

コロナ禍でマスク着用に対する各国民性を表す指示のジョークとして「ヒーローになるよ」の🇺🇸、「それがルールだよ」の🇩🇪 などと紹介されていたとき日本はルールじゃないの?と思ったが、🇯🇵は「みんなつけてるよ」であった。同調圧力。確かにコロナの症状以上に恐ろしいのは世間の目だという都市伝説ならぬ田舎伝説のようだよコロナ差別話があちこちで起こっていた。舞台演出という様々な人間関係の中でものをつくる経験者からの深い回答が人気の人生相談。中には同調圧力についての洞察もあり、今改めて必読ではと思う。

## 白人ナショナリズム アメリカを揺るがす「文化的反動」

白人による黒人殺害事件やその抗議デモでアメリカは騒然としています。スポーツや音楽の業界では、抗議ストライキが起き、ゲーム業界ではイベントやコンテンツ配信の延期で抗議をするなど各方面で非難の声が上がっています。ところで、アメリカの人種問題はこういった流れや考え方があるのでしょうか? 「白人ナショナリズムって何?」と思われたのなら、ぜひ読んでみて下さい。





# 上司と部下の深いミゾ

## パワー・ハラスメント完全理解

もはや社会問題と言っても過言ではないパワーハラの  
 パワーハラスメントが一体どんな構造で、どんな環境で起り  
 やすいのか、また、どのような人が加害者・被害者になりやすい  
 のか、何が原因されているのか、本書です。見えない同調圧力や  
 昭和時代の悪い習慣、令和時代の特有の被害など  
 自分のふりまが周囲にどのような影響を与えているか、  
 考えてみるひとつのきっかけになります。



# 「女装と男装」 の文化史

マンガから古典芸能、映画、演劇、文学など、古今東西を問わず  
 様々な登場する男装・女装するキャラクター  
 彼らにはいったいどんな物語があるのだろうか  
 様々な文化、社会、時代背景もおりませ  
 それらから見えてくる人間の生の多様性に迫る





路上生活者など、貧困問題の多くは  
アジア、アフリカ、中南米での話だと  
思われがちだが、東欧の小国ルーマニアにも  
マンホールの中で生活する人々がいる。

ルーマニア！

マンホール

生活者たちの

記録

チャウシェスクの子どもたちとも呼ばれる  
マンホールで生活する孤児たちの記録

ぼくは12歳、

路上で暮らし

はじめたわけ。

私にはなにができますか？

その悲しみがなくなる日を夢見て

“ストリートチルドレン”  
一度は聞いたことのある言葉。  
では実際のストリートチルドレンは  
どのような生活をおくっているのか…

ストリートチルドレンの現状を  
知り、私たちには何ができるのか。

子どもを守るための  
子どもの権利を考える。





## MEMO







## MEMO







愛知学院大学  
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2020年11月

わたしとあなた。同じようで違う私たちの心に潜む境界線。

読んで知って、人権と尊厳を考える。

